

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	252013	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
生理学分野におけるアジア発国際基幹誌の確立		一般社団法人 日本生理学会	会長 栗原 敏
学術刊行物の名称			(略称)
The Journal of Physiological Sciences			JPS

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p><b>JPS</b> を国際基幹誌として確立することを目標とし、2019年には全ての掲載論文のオープンアクセス化、インパクトファクター3.0 以上、ダウンロード数の増加などを目指している。その取組として、優秀論文のオープンアクセス化、当誌の知名度向上のための関連学会の抄録掲載、編集委員やレフェリーの外国人割合の増加を進めており、ある程度の進展がみられるが、いずれも目標値には到達していない。</p> <p>完全オープンアクセス化が最も重要だと思われるが、今後の計画はこれまでと大差なく、そのため経費捻出の具体案も示されていない。残る事業期間に目標達成のための改革が必要である。</p>	